

挑戦者本人が語る、その発端からブレークスルーに至る夢と苦闘の道のり
発足40周年記念「INNOVATION FORUM 21年度 後期例会」

－ DXと脱炭素時代、日本独自の価値観と美意識・日本ならではの強みを発揚させる、日本独自のイノベーションを求めて－

※ 本フォーラムは「産業と分野、国と文化の違いを超えた感動的出会いと相互研鑽の機会と場」の実現を目的に、又「時間」と「場所」、出来れば「言語」の壁をも取り払った「バリアフリー・コミュニケーション」の実現に努めています

と き・講 師

ご 依 頼 テ ー マ ・ 概 要

1

2022年
2 / 25
(金)



人見光夫氏
マツダ(株)
シニアイノベーションフェロー
MBD推進センターステアリングコミティ委員長

DX時代における日本の自動車産業の国際競争力強化を目指す
『All Japan による“MBD (Model Based Development) 推進センター”発足の基本ビジョンと構想』

2021年7月、国内自動車メーカー5社、部品メーカー5社が中心となり、試作を前提としない、バーチャルな3次元Simulationを駆使した高度な摺り合わせ技術「SURIWASE2.0」を実現する“Model Based Development”をAll Japanで推進、日本の車産業の国際競争力強化を目的に「MBDセンター」を発足。委員長にマツダの人見光夫氏が就任。氏は試作実機テストを経ず、バーチャル3次元Simulationなど“Computer Aided Engineering”を駆使、画期的内燃機関SKYACTIV エンジンを生み出した中核者。



Skyactiv Engine マツダ(株)提供



Skyactiv Roadstar マツダ(株)提供

2

3 / 17
(木)



山田正人氏
MHIベスタスジャパン(株)
代表取締役社長

『地球温暖化対策・脱炭素社会の実現に挑む、MHIベスタスジャパンの風力発電』

三菱重工業と世界的風力発電機メーカーの1社 デンマークのヴェスタス社は、風力発電機事業の連携強化を目的に、「MHIベスタスジャパン」を設立、2021年営業を開始した。COP 21を振り返るまでもなく、地球温暖化は人類共通の深刻な課題として地球規模で共有されている。今回、MHIベスタスジャパンの山田社長をお囲みし、洋上風力発電の利点と課題、通説とその可否等を取り上げ、日本の再生可能エネルギーの今後を考えたい。氏の日本の再生エネルギー問題への危機意識は強い。



MHIベスタスジャパン(株)提供

洋上風力発電機

3

4 / 14
(木)



山口博司氏
富士フイルム(株)
画像技術センター長

『次世代AI技術で挑む、富士フイルムのヘルス・医療分野の画像技術開発』



富士フイルム(株)提供

世界最先端のAI画像処理で知られる。創業以来85年、写真フィルムで培った技術を基盤に、医療画像診断やフォトイメージング分野で画像データからより価値ある情報に導く技術を開発、高めてきた。X線写真に代わるイメージングプレートも同社の開発。

4

5 / 13
(金)



角田哲史氏
(株)本田技術研究所
HRD Sakura エグゼクティブチーフエンジニア

後世に伝えたい、F1撤退の2021年12月、苦節30年、土壇場で奇跡の世界チャンピオンの座の奪回を果たした
『ホンダF1パワーユニット開発への挑戦』

ホンダは今シーズンでF1撤退。そのホンダの集大成と言える渾身の新型パワーユニットが開発、投入され、遂に世界チャンピオンの座を奪回した。その開発総責任者浅木泰昭氏は、「現代のレギュレーションでは、曾てホンダが得意とした高回転・高出力型パワーユニットだけでは意味をなさず、“効率こそ全て”になった」という。“どん底状態”から年間タイトルを狙えるポジションに來れたのは、2018年、高効率新燃焼のコンセプトを探り当て、その燃焼に耐えるピストン開発、Honda Jetの高度シミュレーション技術の採用があった。エンジン屋の限界を超えたと言われる超高効率F1用ターボはこうして生れたという。その開発の中心が角田哲史氏だった。



ホンダ F1パワーユニット (株)本田技術研究所提供

Honda Collection Hall (株)本田技術研究所提供

ホンダ出場のF1レース

5

6 / 22
(水)



高崎 渉氏
第一三共(株)
常務執行役員 研究開発本部長

『製薬企業におけるモダリティ戦略、新規治療手段の探索と実用化』

2030年ビジョンとして「サステナブル社会の発展に貢献する先進的グローバルヘルスケアカンパニー」を掲げる。癌に強みを持つ創薬企業として多彩なモダリティ技術を用い、先進的医薬品創出に取り組んでいる。Antibody Drug Conjugate (ADC)、mRNAワクチン、核酸医薬、遺伝子治療、治療用ウイルス等の新規治療手段は、低分子や中分子創薬と共に創薬パラダイムを大きく変革するもの。しかし、このモダリティ探索にセオリーが無く、生産等実用化に課題も多い。新型コロナワクチンの話題にも触れていただき、将来展望についてもご披露願う。更に、研究開発の多様でシームレスな活動におけるグローバル人材育成についてご紹介いただく。



第一三共(株)提供

第一三共(株)品川研究開発センター

モダリティは低分子化合物、ペプチド(中分子)薬、抗体医薬など蛋白質医薬、核酸医薬、mRNAワクチン、再生医療など治療手段のこと。近年では、核酸医薬や遺伝子治療、治療用ウイルスの研究開発が活発化し、モダリティ選択の幅が広がった。

6

7 / 1
(金)



矢野和男氏
(株)日立製作所 フェロー
(株)ハピネスプラネット 代表取締役 CEO

『テクノロジーとWellbeing、予測不能の時代の幸せ』

－ IEEF最高位賞「2020年度 IEEF Frederik Phillips Award」受賞－
 1993年、単一電子メモリの室温動作に成功。ナノデバイス室温動作に道を開いた方。又、電気・電子産業への革新性を評価され、「人間中心のIoT技術開発と実用化」でIEEF最高位賞・2020年度IEEF Frederik Phillips Award受賞。2004年からウェアラブル技術とビッグデータ活用で世界を牽引。氏開発“Business Microscope”は歴史的ウェアラブルデバイスとHBR誌が紹介。予測不能の現代、変化に立ち向かわせるのは“やり甲斐”、これが「幸せ」に繋がることを膨大なデータで実証。HP社は2020年、日立の出島として新設。予測不能の時代の幸せにIoT技術で迫る。IEEFフェロー。



アプリ写真



ウェアラブルセンサー (株)日立製作所提供

チ
エ
ア
マ
ン



入交 昭一郎 氏
(有)入交昭一郎 代表
元本田技研工業㈱ 代表取締役 副社長
元附セガ・エンタープライゼス 代表取締役 社長・会長

◆毎回の基本スケジュール

13:30～14:30 講演(前半)
 14:30～15:00 コーヒーブレイク
 15:00～16:00 講演(後半)
 16:00～17:00 Q & A

◆会場(リアルミーティング)

(公財)国際文化会館
 東京都港区六本木5-11-16
 03-3470-4611
<https://www.i-house.or.jp/>

- ◎ リアル、オンラインのプログラムに違いはありません。
- ◎ オンラインメンバーの方の会場ご出席は出来ません。
- ◎ 詳細ご案内を、毎回(又は1ヶ月前)にお届けいたします。
- ◎ オンラインご参加の方にはZoomURLをお届けします。

新経営研究会
<http://www.shinkeiken.com>